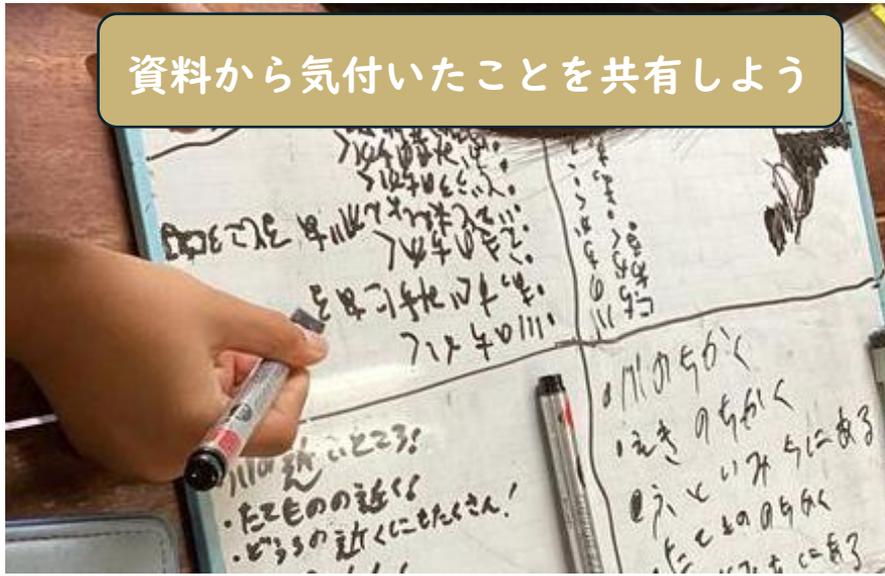


3年 わたしが創る“学びの時間” ～教科と総合の記録～

各教科

資料から気付いたことを共有しよう



社会科では、墨田区のスーパーマーケットの図を基に、児童たちはホワイトボードを四分割して一斉に意見を書き出しました。それぞれが自分の視点で気付いたことを主体的に表現し、他の意見と比較したり共感したりする中で、地域の暮らしに対する理解を深めていました。意見交流を通して、多様な考えに触れる貴重な学びの場となりました。

課題設定の工夫



国語科では、辞典の使い方を学ぶ活動を、班ごとのミッション形式で課題に取り組みました。児童は分からないことを教え合ったり、自分のペースで進めたりと、学習形態を自由に選択できる環境の中で、主体的に学習を進めていました。個別支援が必要な児童も安心して参加でき、協働的な学びが深まりました。

生活と結び付いた学び



棒グラフと表の学習では、児童が自らテーマを決め、インタビューや調査を行ってデータを集めました。集めた情報を表や棒グラフにまとめることで、データの整理や視覚的な表現の力を養いました。自分でテーマを選んだことで、主体的に活動する姿が多く見られ、算数の学びが生活とつながる実感をもつことができました。

総合的な学習の時間

ICT 機器の活用



学校周辺の様子について、児童は興味のあるテーマごとにグループを組み、マップづくりに挑戦しました。ロイロノートの共有ノートを活用しながら、写真を貼ったり、インターネットで調べた情報をカードにまとめたりと、探究心をもって主体的に活動しています。協働的な学びの中で、地域への関心が高まりました。



目的に応じた学習方法の選択

自分たちの住む三吾のまちについて、公園やお店などテーマを絞り、模造紙に付箋で分布図を作成しました。拡大した地図に付箋を貼ることで、児童は広い視野でまちを観察することができました。また、テーマや種類ごとに付箋の色を変えるなど、目的に応じた工夫も見られました。

表現方法の工夫



創立 150 周年記念掲示物づくりで、3年生は地域マップにおすすめスポットを調べ、紹介カードを作成しました。二次元コード化や写真撮影などの工夫を通して、児童は主体的に情報を整理し、見通しを持って作業を進める力を育みました。活動を通じて、地域への関心を深めるとともに、自分の考えを表現する力が伸びています。

学校の教育目標「自立・共生・健康」